

令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果について

6学年を対象に行われた全国学力・学習状況調査について、6学年児童・保護者の皆様にはすでに個票をお渡ししましたが、本校の結果等についてその概略をお知らせします。本校では、本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、教育活動の一側面であることを踏まえながらも、これまでの指導との関連を図りつつ今後の指導に生かしていきたいと考えています。

< 学力の概観 >

- 1 国語では、話し手の意図をとらえながら聞き、自分の考えをまとめる力がついてきています。要点をとらえながら文章を読むことを大切にしている成果です。
- 2 算数では、数と計算、量と測定、数量関係に関する技能や数学的な考え方は大きく力を伸ばしています。「記述する問題」に対して、あきらめずに取り組む様子が見られました。無回答が少なくなっています。
- 3 学習状況の質問では、「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標をもっている」と答えた児童が多く全国平均を大きく上回っています。1日当たり平均1時間以上勉強していると答えた児童が70%近くいます。1日当たり平均30分以上読書をしていると答えた児童が50%を超えています。
- 4 これらの結果を受け、学校ではさらに以下の視点を大切にしていきたいと考えます。

- 基礎・基本の確実な定着と自ら学び自ら考える力を育てます。
 - 授業において「読み取る」学習を多く取り入れていきます。また、本を読む機会を充実させます。
 - 新出漢字を繰り返し練習し、定着の度合いも確かめながら学習していきます。
 - 意味を考えて文章の中で使えるようにします。
- ※ 調査の「たいしょう」→○対象 ×対照 ×対称
- ※ 「かんしん」をもつ→○関心 ×感心
- 考えたことを交流したり文章にしたりする学習を多く取り入れていきます。
 - 質の高い日常の授業実践を目指し、さらなる授業力向上に取り組めます。

今後ともお子さんの健やかな成長のためご支援・ご協力をお願いいたします。